

研究開発課題概要

研究開発課題名：PaaS-CAE 基盤に関する研究開発

— 民間基盤技術研究促進制度平成21年度新規提案 —

受託者	株式会社キャトルアイ・サイエンス
研究開発期間	平成21年10月～平成23年9月（2年0ヶ月）
研究代表者名	上島 豊
研究開発の概要	<p>企業の技術シーズ、ノウハウ等の重要な知的資産が含まれる CAE シミュレーションや実験データの解析システムなどの R&D 業務は扱うべき対象や処理プロセスの変化が激しく、事務業務系で導入が進んでいる SaaS 化、PaaS 化はおろか、社内システム化さえ構築が困難な状態であった。本研究開発のベースとなる当該社の RCM システムソフトウェアは、これらの問題を解決した。</p> <p>ただ、R&D 系業務を社内システムとして持つということは、計算資源および CAE ソフトのライセンス費、それらを維持するための技術者、電気、場所など大きな費用がかかることになる。繁忙期に合わせてそれらリソースを準備すると閑散期には、大きな無駄が発生する。また、現状、実験系と CAE 系との連携ができていなく、知的資産の有効活用が大きく阻害されたままである。</p> <p>本研究開発では、R&D 分野で社内システムを可能とした RCM システムソフトウェアを Internet 上の商用 R&D 系業務 PaaS-CAE クラウドが展開できるように、FW 透過性、機密性を付加するとともに、信頼性、利便性を強化する。また、実験と計算それぞれの R&D 系業務の連携性を強めるために、実験等の当該社内 R&D クラウドと商用 PaaS-CAE クラウドをシームレスに連携する機構を開発する。</p> <p>その結果、上記問題が解決され、企業の技術シーズ、ノウハウ等の重要な知的資産が生まれる源である R&D 系業務の統合 PaaS 化が実現され、社会全体の R&D 系業務に対し、革新的な効率化と高品質化が達成されることが期待される。</p> <p><用語説明></p> <p>PaaS (Platform as a Service) :クラウドコンピューティングの一種。通常の WebService では、あらかじめ決められたサービスしか提供できないが、PaaS は、ユーザがシステムやサービスを稼働させる事もできるプラットフォーム自体を、インターネット経由で利用できるサービスとして提供する。</p> <p>RCM システムソフトウェア : (株) キャトルアイ・サイエンス製の R&D 系業務の Web システム化のための統合ミドルウェア。プログラミングフリー、DB 設計フリーで分散計算資源の制御を含む R&D 系業務を対象にした Web システムの構築を可能にする。</p>

